

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 1・2・4・6・7組：安久津 ） （ 3・5・8組 山倉 ）

使用教科書： （ 東京書籍「公共」 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から論理的主体などとして活動するために必要となる情報を、適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、シティズンシップを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共的な空間をつくる私たち ―社会のなかの自己― 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・指導事項 公共的な空間をつくる私たち ―社会のなかの自己― ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	5
	B 公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理― 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究する。	・指導事項 公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理― ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会― 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。	・指導事項 公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会― ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	10
	D 民主政治と私たち 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究する。	・指導事項 民主政治と私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	○	○	○	10
2 学 期	定期考査			○	○		1
	E 法の働きと私たち 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 法や規範の意義と役割、司法のしくみや司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義と役割、司法のしくみや司法参加の意義などについて、主体的に追究する。	・指導事項 法の働きと私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 法や規範の意義と役割、司法のしくみや司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割、司法のしくみや司法参加の意義などについて、主体的に追究している。				10
	定期考査			○	○		1
	F 経済社会で生きる私たち 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済循環、市場経済のしくみや政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみや働き、財政の働きと課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済循環、市場経済のしくみや政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみや働き、財政の働きと課題などについて、主体的に追究する。	・指導事項 経済社会で生きる私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 経済循環、市場経済のしくみや政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみや働き、財政の働きと課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済循環、市場経済のしくみや政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみや働き、財政の働きと課題などについて、主体的に追究している。				10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 私たちの職業生活 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働者の権利と労働三法などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働者の権利と労働三法などについて、主体的に追究する。	・指導事項 私たちの職業生活 ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働者の権利と労働三法などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働者の権利と労働三法などについて、主体的に追究している。				5
	H 国際社会のなかで生きる私たち 【知識及び技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際連合の役割、日本の平和主義などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際連合の役割、日本の平和主義などについて、主体的に追究する。	・指導事項 国際社会のなかで生きる私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 国際連合の役割、日本の平和主義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際連合の役割、日本の平和主義などについて、主体的に追究している。				9
	定期考査			○	○		1
						合計	70
				○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科		地歴総合	科目	世界史探究
教 科：	地歴総合	科 目：	世界史探究	単位数： 2 単位
対象学年組：	第 2 学年 1 組～ 8 組			
教科担当者：	（1組・2組・6組・7組・ 8組：近江屋篤史 （3組・4組・5組 ：住司憲史）			
使用教科書：	（ 東京書籍『世界史探究』 ）			
教科	地理歴史	の目標：		
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
科目	世界史探究	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解する。技能：諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資する。	世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	過去の歴史を学ぶことによって、現代の世界の成り立ちを理解し、文化的な多様性に理解ある人間性を身につける。歴史緒の考察を踏まえた上で、現代の諸課題に積極的に取り組み自ら歴史に参加する姿勢を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】世界へのまなざし 古代文明 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 先史 古代文明 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】諸地域の歴史的特質への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 諸地域の歴史的特質への問い ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】アジア、中央ユーラシア、アフリカ、 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 アジア、中央ユーラシア、アフリカ等 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】諸地域の交流と再編への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 諸地域の交流と再編への問い ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】地球規模での交易の拡大 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 地球規模での交易の拡大 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				15
3 学 期	F 単元 【知識及び技能】一体化していく世界 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 一体化していく世界 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				12
	G 単元 【知識及び技能】グローバル化と地球の課題 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 グローバル化と地球的課題 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8
4 学 期	H 単元 【知識及び技能】世界の変容と新たな地球的課題と世界史 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 世界の変容と新たな地球的課題と世界史 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8
							合計 73

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	地 歴	①②	住司憲史
科 目 名	世界史B		
単 位 数	4		
必修選択区分	自由選択		
使用教科書	詳説世界史 改訂版（山川出版社）		
使用副教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）		
	世界史Bマスター問題集（山川出版）		
	詳説世界史10分間テスト(山川出版)		

学習の目標	1 学期	古代における諸地域世界について理解を深める。
	2 学期	中世ヨーロッパ史、東アジア世界、イスラーム諸国家について講義や演習を通じて理解を深める。共通テスト演習を行い、実践力の向上を図る。テーマ史にも対応できる力を養う。
	3 学期	既習事項の成果をふまえ、大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に対応できる力を養う。
担当者からのコメント		進学指導重点校として、大学受験に対応できる力を養うことを重視するが、それが歴史のオーソドックスな学習によって達成されることを体得させる。

成績評価	観点	授業を軸としつつ、主体的に学習に取り組んでいるか。 特定の地域や国に着目して通史的な理解や、ある世紀・年代に着目した同時代的な理解など、既習事項についてテーマに応じて再構成することができているか。
	方法	定期考査の成績を中心に、授業に取り組む姿勢や小テストなどを考慮して、総合的に判断する。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	24	先史・オリエント・エーゲ文明・古代ギリシア・古代ローマ	
		期末	24	キリスト教・インド・東南アジア・中世ヨーロッパ	
	2 学期	中間	28	20世紀から21世紀の歴史 テーマ史、問題演習	
		期末	28	共通テスト演習 論述式問題の指導、その他	
	3 学期	学年末	36	大学入学共通テスト前 共通テスト対策 大学入学共通テスト後 論述問題指導 私大・国公立2次対策	共通テスト後は 個別指導中心

令和5年度 授業実施計画書

学 年		3 年			組	科目担当者	
教 科 名		地 歴				①②	近江屋篤史
科 目 名		世界史B（世界史演習）					
単 位 数		2					
必修選択区分		自由選択					
使用教科書		詳説世界史 改訂版（山川出版社）					
使用副教材		ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）					
		改訂版世界史マスターB問題集（山川出版社）					
学 習 の 目 標	1 学期	古代中国史を中心に東アジア史、中央ユーラシア史について、講義を通じて理解する。過去の大学入試問題の演習を通じて既習内容の定着状況を確認する。 また、基本的な内容が身についた範囲については、より高度な知識の体得をめざす。					
	2 学期	中国史を中心に東アジア史、中央ユーラシア史について、講義を通じて理解する。過去の大学入試問題の演習を通じて既習内容の定着状況を確認する。 また、基本的な内容が身についた範囲については、より高度な知識の体得をめざす。					
	3 学期	1・2学期の学習の成果をふまえ、大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に対応できる力を養う。					
担当者からのコメント		進学指導重点校として、大学受験に対応できる力を養うことを重視するが、それが歴史のオーソドックスな学習によって達成されることを体得させる。					
成 績 評 価	観 点	授業を軸としつつ、主体的に学習に取り組んでいるか。 特定の地域や国に着目して通史的な理解や、ある世紀・年代に着目した同時代的な理解など、既習事項についてテーマに応じて再構成することができているか。					
	方 法	定期考査の成績を中心に、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に判断する。					
授 業 計 画	学期		時間	指導内容		備考	
	1 学期	中間	8	古代中国を中心に東アジア史		講義内容の復習テスト	
		期末	11	隋唐以降の中国を中心に東アジア史			
	2 学期	中間	14	イスラーム世界を中心にユーラシア史		講義内容の復習テスト	
		期末	14	問題演習を中に学習内容の定着を図る。			
	3 学期	学年末	18	大学入学共通テスト前 大学入学共通テスト後 共通テスト対策 論述問題指導 私大・国公立2次対策		共通テスト後は 個別指導中心	

東京都立八王子東高等学校

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	地 歴		
科 目 名	日本史B（日本史演習）	①	梶原 崇史
単 位 数	2		
必修選択区分	自由選択		
使用教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）		
使用副教材	新詳日本史（浜島書店）	②	梶原 崇史
	新詳述日本史史料集（実教出版）		

学習の目標	1 学期	近世の政治・社会経済・対外関係・文化に関する事項整理をもとに近世の特色について学習し、各分野間の関連について考察し、歴史的思考力を身に付ける。
	2 学期	第二次世界大戦後の通史学習を通し、民主的・平和的な社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。
	3 学期	1・2学期の学習の成果をふまえ、大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に対応できる力を養う。
担当者からのコメント	分野間の関連の整理や資史料の適切な解釈などの歴史的思考力を養うことを通し、論述問題を含めた大学入試への対応力を高める。	

成績評価	観点	史・資料を踏まえて、近世国家の社会や文化の特色を実証的に考察し理解できたか、近現代国家の形成と社会や文化の特色について国際環境と関連付けて理解できたかを、「興味・関心」「思考・判断」「史料活用の技術」「知識・理解」に基づき評価する。
	方法	定期考査のほか、小テストや授業の参加姿勢などを総合的に判断して評価する。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	近世史の概説	必要に応じて復習テストを実施する。
		期末	12	近世史の概説	
	2 学期	中間	14	戦後改革と経済復興・経済の高度成長	必要に応じて演習問題を扱う。
		期末	14	高度成長の終焉・現代の諸課題・近現代文化史	
	3 学期	学年末	18	問題演習（テーマ史）	総復習と大学受験直前の確認。共通テスト後は個別指導で対応する。